



芝山小だより



8、9月号
清瀬市立芝山小学校
校長 寺井 俊敬
<http://www.kiyose.ed.jp/>

オリンピック・パラリンピックから学ぶこと

校長 寺井 俊敬

本日より、2学期がスタートし、学校には子供たちの声が戻ってきました。

今年の夏は、暑い日だけでなく、各地で長雨による被害も連日報道されていました。お子様たちは、元気に過ごせたでしょうか。新型コロナウイルス感染症の拡大が止まりませんが、感染症、熱中症に気を付けながら、2学期のスタートです。

4年に一度のオリンピックが7月23日～8月8日に行われ、現在はパラリンピックが行われています。

柔道、卓球、野球、サッカー、ソフトボール、マラソン…コロナ禍で出かけられない分、かなりの時間テレビでオリンピックを見ていました。

オリンピックでは、過去最高のメダル獲得数がニュースでは報じられた一方、残念ながらメダルには届かなかった選手、このオリンピックを機に引退する選手もいました。

だいたいどの競技も、競技後にはインタビューの時間がありました。インタビューの中で、多くの選手の皆さんから「感謝の言葉」が多かったように思います。オリンピックが開催されるかどうか分からない中、複雑な思いで、ただひたすら練習に打ち込んでいたことと思います。自分は、テレビ画面で応援することしかできませんでしたが、選手の皆さんから努力することの大切さ、感謝の気持ちをもつこと、コロナ禍であっても前を向いて進んでいくことの大切さを感じることができました。オリンピック前に様々な意見がありましたが、選手の皆さんがオリンピックに出場できたこと、選手の皆さんの活躍する姿を見られたこと、本当に良かったと思います。

きっと、子供たちも、オリンピックを各ご家庭においてテレビ等で観戦していたことと思います。そして、オリンピックを見て、学んだこと、感じたことがあったのではないのでしょうか。

ニュースでは「真夏の冒険」の実況のもと、スケートボードで金メダルを獲得した西谷柊選手を見て、スケートボードを始めた子供たちもいると報じていました。小学生の子供たちにはスケートボードを始めるきっかけになったかもしれませんし、オリンピックも夢ではないと思えたかもしれません。

オリンピックを見て、芝山小学校の子供たちの中にも、新しくスポーツを始めたいと思った人もいるかもしれません。野球、サッカー、バスケットボール、水泳等、今行っているスポーツをさらに高めていこうと思った子供たちもいるかもしれません。もちろんスポーツだけでなく、今取り組んでいることを極めていこうと思った子供たちもいることでしょう。会場で直接観戦することはできませんでしたが、オリンピックを見て、選手たちの頑張りが、子供たちの心に残ったのなら嬉しい限りです。

さらに、パラリンピックが24日から始まりました。可能な限り、テレビ越しではありますが、応援していきたいと思います。子供たちにも、障害を乗り越え、競技に打ち込むパラリンピック選手からも、目標に向かって努力する大切さ、夢や希望をもつことの大切さ等、何かを感じ取ってほしいと思っています。

新型コロナウイルス感染症の感染状況に不安を感じている保護者の皆様が多いことと思います。本日、別紙に「2学期以降の教育活動について」を印刷・配布いたしました。現時点での2学期以降の行事等について、出欠席について、感染予防について、ご家庭へお願いしたいことについて等を書かせていただきました。

2学期以降も感染症対策を講じながら、教育委員会と連携して、できる限り教育活動を行って参ります。今学期も、本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。